

住民の声を尊重しない市の姿勢に「押しつけだ」と反発の声

大浦安で総合事務所のあり方で市長と市民との意見交換会

「総合事務所のあり方についての市長と市民との意見交換会」が19日、安塚区、浦川原区、大島区で開催されました。このうち、大島区で開催された意見交換会を傍聴してきました。

午後4時に開会、終わったのは6時半近くでしたから、長時間の意見交換となりました。でも、市民の声は聞いても、総合事務所産業建設グループの集約化についての大浦安（大島、浦川原、安塚）での試行は予定通り4月から行うというのです。これには、「聞いただけで押しつけだ」などと反発の声が相次ぎました。市長選のときのキャッチフレーズ、「市民がど真ん中」はすっかり遠くに行ってしまうました。

今回の意見交換会を前に行政側は、総合事務所のある方の見直しの意義を3つにまとめまし

動力の向上が必要だということです。2つは、一業務を複数の職員で担任する体制を構築し、職員同士の情報交換などによる資質の向上をはかること。そして3つ目は、広域的な政策や新たな地域振興策を展開していくことにあるとしました。

市民の方からの発言はすべて大浦安での試行に反対でした。「浦川原に行つてどうしてよくなるのか。遠くなってサービスがよくなることはない」「（行政側が）自分の都合のいいように考えてまとめただけだ」「合併して殆どいいことがない。敬老会一つとつてもサービスが低下した」「モデル地区という言葉を使っているが、良いことをするときに使ってもらいたい」「地域自治区にかかわる重要事項は地域協議会

に諮問してほしい」「これだけのことをやるなら市長の考えている分権の絵をしっかりと見せてください」などの発言の根底には、行政に対する不信と反発が渦巻いていました。これらのもとは、合併による地域の衰退です。また、村山市長が取り組んできた事務事業の総ざらい、地域事業費制度の見直しに続いて、今回の総合事務所のあり方の見直しについても行政主導で行われてきたことも大きいと思います。

意見交換会で市長に対して激しい抗議の声があがったのは午後6時過ぎでした。Mさんが、「（4月から即実施ということではなく）意見交換の場でも出された私たちの気持ちを帰して改めて検討してもらえないのか」と質問したことに對して、市長が、「私としては取り組むという方向の中で私の思いを伝えてさせてもらいた」と述べ、再検討の意思はないことを明らかにした時でした。会場からは、「一方的な説明だ」「聞いてもらえないのであれば、これ以上言う必要はない」などといった声が相次ぎまし



た。1つは、災害対応。総合事務所間の連携強化は、防災に強い体制を構築することです。また、職員の業務効率化、迅速な対応、市民サービスの向上など、総合事務所が果たすべき役割を再確認し、市民の声を尊重する姿勢を改めて示すことが求められています。

3月定例議会の日程

新年度一般会計予算などを決める3月議会が28日から来月23日まで開催されます。20日の議会運営委員会で下記の通り日程が決まりました。会議開始時間はいずれも午前10時からです。誰でも気軽に傍聴できますので、ぜひお出かけください。お待ちしております。なお、私の所属する委員会は総務委員会です。

| 月 日 | 会議名 | 会議室 | 備考 |
|-----------|---------|--------|--------------|
| 2月28日 (火) | 本会議 | 議場 | 提案説明 総括質疑 |
| 2月29日 (水) | 本会議 | 議場 | 総括質疑 |
| 3月 1日 (木) | 文教経済委員会 | 第1委員会室 | 付託案件の審査 |
| 3月 2日 (金) | 文教経済委員会 | 第1委員会室 | 付託案件の審査 |
| 3月 5日 (月) | 厚生委員会 | 第1委員会室 | 付託案件の審査 |
| 3月 6日 (火) | 厚生委員会 | 第1委員会室 | 付託案件の審査 |
| 3月 7日 (水) | 建設企業委員会 | 第1委員会室 | 付託案件の審査 |
| 3月 8日 (木) | 建設企業委員会 | 第1委員会室 | 付託案件の審査 |
| 3月 9日 (金) | 総務委員会 | 第1委員会室 | 付託案件の審査 |
| 3月12日 (月) | 総務委員会 | 第1委員会室 | 付託案件の審査 |
| 3月14日 (水) | 本会議 | 議場 | 一般質問 |
| 3月15日 (木) | 本会議 | 議場 | 一般質問 |
| 3月16日 (金) | 本会議 | 議場 | 一般質問 |
| 3月19日 (月) | 本会議 | 議場 | 一般質問 |
| 3月21日 (水) | 本会議 | 議場 | 一般質問 |
| 3月23日 (金) | 本会議 | 議場 | 付託案件の採決 |

二月も後半になりました。まだまだ寒さも厳しく、時どき雪も降ります。でも、晴れた日にお天道様の日差しを浴びると、とても暖かく感じられるようになりました。そして、私の気持ちもウキウキしてくるのです。

先日、市役所での仕事が終わって、午後三時半ころ家に帰ってきました。この日は朝から晴れて、一日中暖かでした。お天道様が暖めてくれたのでしょうか、ストーブをつけていないのに部屋の温度は一〇度近くもありました。

仕事部屋で印刷作業を終わらせてから、外へ出たくなりました。というのも、気になることがあったからです。こんなに暖かくなっているんなら、ひよつとすると咲いているかも知れない。私の頭の中では黄色の、びらびらした花が開いている様子が描かれていました。そう、黄色の花というのはマンサクです。

わが家の牛舎近くの山には一本だけマンサクの木があります。それも道から数メートルの距離にあります。

木に一番近い位置まで歩いて行くと、道から林の中に入って行った動物の足跡がありました。横二つの跡の跡の手に縦に二つの跡があり、林の奥の方まで続いています。形からして動物は明らかにウサギでした。私の手の握りこぶしくらいの大きさの足跡から推測すると、かなり大きなウサギだと思います。足跡はまだはつきりとしていたもので、数時間前に飛び跳ねていたようです。道からびよんと跳ね、まっすぐに山の上の方へと進んでいったことがわかります。このウサギもまた、暖かい日差しの中で外遊びをしたくなったのかも知れません。

雪はまだ一メートル五〇センチほど積もっています。私は、空に向かって四メートルほどの背丈になっているマンサクの木を見上げました。うん、こりや、まだ早かったかな。でも、確かめてみよう。そう思って、長靴で雪を踏み固めながら、木のそばまで行きました。

手前の枝についた芽を見ると、まだしつかりと閉まっています。やつぱりだめだったか、半ばあきらめて戻ろうとした次の一瞬でした。別の枝の先っぽの方がうっすらと黄色くなっているような気がしました。手を伸ばし枝を引き寄せてみると、わっ、うれしい、咲き始めているじゃありませんか。

咲き始めていることがわかれば、写真に撮りたくありません。ポケットからデジタルカメラを取り出し、何枚か撮りました。写真は、ブログに載せるためです。マンサクが咲き始めたこの喜びを一時も早くみなさんにお知らせしたいと思っただけです。

マンサクの木があるとところから北の方角には田があり、そのはるか向こうには米山の姿も見えます。気のせいかな、数日前までとは景色ががらっと変わったように思えます。ココココ……、キツツキが木を突く音も聞こえてきました。

マンサクが咲き始めたなら、わが家の梅も咲いているかも知れない。その後、家に戻って確認したところ、わが家の庭にある梅の木の花もまた大きくふくらんでいました。こちらは白い花です。ふくらんだつぼみは一部の表面が白くなつてきています。この分だと、マンサクとわが家の梅はほぼ同時に開花するかも……。

ブログに咲き始めたマンサクの写真を載せたら、長野県在住の方から「辛いことも、小さなつぼみに癒されます」という声を寄せていただきました。小さな花でも人の心を動かす力はけっして小さくはありません。春はもうそこまで来ました。

宅リフォーム促進事業が継続されたことです。4つ目は、中山間地域元気な農業づくり推進事業、緊急消雪促進対策事業など地域農業振興に力が入った予算となったことです。これらはいずれも関係団体や日本共産党議員団などの提案と運動が実ったもので評価したいと思います。

こうした前進面と同時に、関係住民の声を無視して総合事務所の見直しが進められようとしていること、学校給食の民間委託の流れがさらに強められたこと、一般教職員の参加が十分保障されず、子どもたちが直接参加できない学校運営協議会が新たにつくられようとしていることなどの問題も含んでいることを率直に指摘しなければなりません。最後の指摘に関してですが、地域や保護者に開かれた学校をつくることは重要です。しかし、学校をよくするには教職員と子どもたち、保護者、地域住民が一体となった取り組みが不可欠です。

3月定例議会の会期は今月28日から来月23日までの25日間。党議員が力を合わせることはもちろんのこと、他会派議員とも一致できることは共同して市民のみなさんの命とくらしを守るために頑張ります。



新年度予算で注目しているいくつかの前進面と問題点

新年度予算については市長が20日、全議員を前にして概要を説明しました。市長は今回初めて重点テーマを設定しました。①北陸新幹線開業に向けたまちづくり、②災害に強いまちづくり、③中山間地域の振興の3つです。昨年からの豪雪、地震、原発事故、水害など、多発した災害のことを考えれば、災害に強いまちづくりが何よりも第一だと思のですが、この重点テーマの設定については大いに議論していきたいと思えます。

発表された新年度の一般会計の予算規模は1241億2555万円ですが、土地開発公社債務整理事業補償金などを除いた実質予算額は925億5515万円となります。土地開発公社の債務整理は合併協議のなかで、基本的には合併前上越市の責任で解決することになっていました。謝罪の言葉があるのかどうか、そして合併協議との関連でどう説明するのか注目です。

この日の市長の説明のなかで、注目したことがいくつかあります。ひとつは、子ども医療費の助成対象が通院も中学3年生まで拡大されたことです（一部負担金あり）。ふたつは、保育料です。県内の市で一番高かった保育料は、階層区分を13段階から20段階へと細分化され、全階層で引き下げられました。3つ目は住